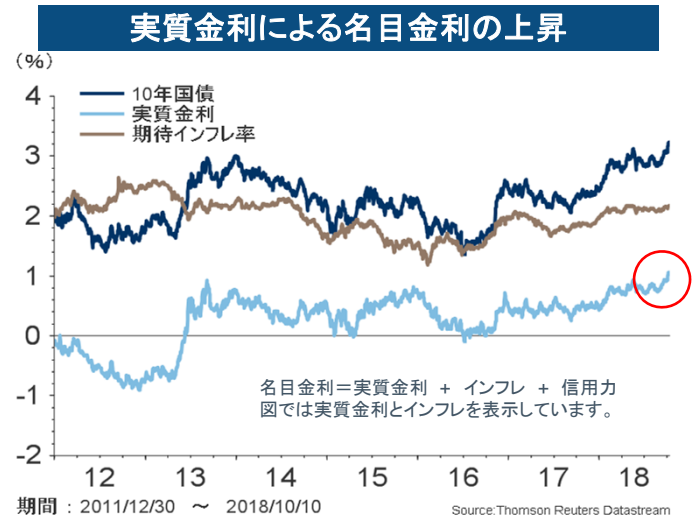
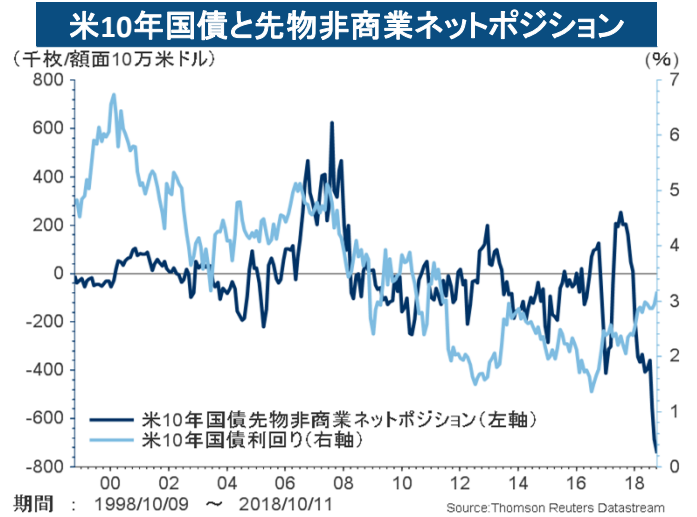


フィデリティ投信株式会社

10月10日以降の世界株式市場は、概ね全面安となり、米S&P500は今年2月以来最大の下落となりました。米国市場で、一部のヘッジファンドが米時間の10日早朝にトレーディングを活発化させたことや、売り注文の大部分がパッシブファンドによるプログラム売買が主因と報じられています。以下、当社の見方についてコメントいたします。

投資先企業への見通しを維持、今後の投資行動に変化なし

- 米国市場は2日連続で大幅に下落しました。最近の金利上昇、米中貿易戦争、原油高などが理由に挙げられていますが、昨日今日起ったことではありません。今回の大幅調整のきっかけは、上述のように一部のヘッジファンドや売り注文の大半を占めたパッシブファンドによるプログラム売買がこの2日間に集中したことが主因であると思われます。右上図のように金利上昇を予想する投機筋の急速な債券先物売りが嫌気された模様です。
- たしかに金利上昇は成長企業の資金調達のコストを上げるため、全体的なマイナス要因と考えられます。ただ、金利上昇は原因ではなく、結果です。仮にインフレによる金利上昇である場合、中央銀行の利上げ加速も懸念され、これが原因で企業にとり向かい風となるかもしれません。右中図のように、経済成長、好調な企業業績の証として、実質金利の上昇により名目金利はむしろポジティブな状況を示しています。
- 今回の売りの主役となった投資家層が、経済ファンダメンタルズの見通しを大幅に変更したとは思えません。そうした見通しを持っているかも疑問です。さらに、彼らは指数を構成する企業をほとんどみていません。市場に投資している投資家が何をきっかけに売っているかその原因を探るより、もっと大切なことは、企業に投資している投資家が、経済ファンダメンタルズや企業の見通しを変え、売りに回るような重要な転換点であるかどうか、です。
- 日々変動する市場の動向をリターン源泉として運用しているのであれば別ですが、当社では、市場の動向よりむしろ組み入れている企業の成長等から生み出される将来のパフォーマンスを期待しています。当社のファンダメンタルズを重視したポートフォリオ・マネージャーは、この2日間、見通しの変更を理由に取引をしていません。投資先企業への見通しを維持し、今後の投資行動に概ね変化はありません。右下図のように企業価値を支える利益見通しに変更はなく、バリュエーションが伸長しているわけでもないため、今回の大幅調整は、比較的短期に収束するものとみえています。



フィデリティ投信株式会社

■ ご注意点

- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
 - 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
 - 当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。
 - 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りします。
 - 投資信託のお申し込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はお客様自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
 - 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。
 - 販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入しておりません。
 - 投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
 - 投資信託は、国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面を良くご覧下さい。
 - 投資信託説明書(目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、販売会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.co.jp/fiji/>)をご参照ください。
 - ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。
 - 申込時に直接ご負担いただく費用: 申込手数料 上限 4.32%(消費税等相当額抜き4.0%)
 - 換金時に直接ご負担いただく費用: 信託財産留保金 上限 1%
 - 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用: 信託報酬 上限 年率2.0844%(消費税等相当額抜き1.93%)
 - その他費用: 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。目論見書、契約締結前交付書面等でご確認ください。
- ※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。ファンドに係る費用・税金の詳細については、各ファンドの投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

ご注意) 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、フィデリティ投信が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しておりますが、当資料作成以降において変更となる場合があります。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に良く目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

フィデリティ投信株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第388号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

FMA18101201 CSIS181012-2